

会 社 名 株式会社 中山製鋼所
 本社所在地 大阪市大正区船町一丁目1番66号
 コード番号 5408
 上場取引所 東証、大証 各1部、福証
 問合せ先 責任者役職名 取締役経理部長
 氏 名 伴 隆彦
 TEL (06) 6555 - 3035

平成13年度の業績予想の修正と中間配当に関するお知らせ

当社の平成13年度決算（連結ならびに単独）の見通しにつきまして、現時点での業績の動向を踏まえ、平成13年 5月25日の決算発表時に公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

また、中間配当につきましては、誠に遺憾ながら見送らせていただくことと致しましたので、ご了解を賜りたいと存じます。

記

（単位：百万円）

	連 結 決 算				単 独 決 算			
	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
上半期見通し （前回予想）	63,000 (65,000)	700 (1,100)	2,400 (1,000)	2,500 (700)	32,000 (34,000)	1,200 (400)	2,000 (800)	2,100 (600)
通期見通し （前回予想）	128,000 (133,000)	800 (4,700)	2,900 (500)	1,700 (100)	66,000 (70,000)	1,200 (2,700)	3,400 (0)	1,900 (0)
<参 考> 平成12年度 上 半 期	40,288	561	2,216	2,625	35,015	745	2,121	2,414
通 期	82,590	3,950	1,416	6,968	72,331	1,084	1,821	5,314

（注）平成12年度は、当社と子会社 3 社及び持分法適用会社 6 社の連結決算でしたが、平成13年度から、当社と子会社 9 社の連結決算に移行しております。

1．上半期の業績予想の修正について

当上半期のわが国経済は、デフレの悪循環で低迷を続け、米国はじめ海外経済の減速による輸出の大幅な減少が相俟って、景気は一段と悪化の度合いを強めております。

このような状況のもと、グループ事業の大宗を占める鉄鋼事業は、国内鋼材需要の急速な落ち込みと鋼材在庫が積上るなかでの熾烈な販売競争による鋼材販価の陥没的な低下、これに前年度第 4 四半期に順調に回復していた高炉の間欠的な操業不調によるコストアップが重なるなどで、前回予想をはるかに下回る見通しであります。

その他の事業（発電・エンジニアリング・不動産）につきましては、発電事業が予想を上回る収益で推移するなど、いずれの事業も引続いて黒字を確保しておりますが、鉄鋼収益の悪化をカバーするに至っておらず、総じて、上半期業績は前回予想から大きく乖離する見通しとなりました。

2．中間配当について

中間配当につきましては、上述の見通しから、誠に遺憾ではございますが、本日の取締役会で実施を見送らせていただくことを決議いたしました。

諸事情ご賢察のうえ、なにとぞ引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

3．通期の業績予想の修正について

通期の見通しにつきましては、今後、内外同時不況の連鎖が加速する一段の厳しい経営環境が懸念されますので、グループ全社をあげて総コスト削減などのあらゆる収益改善と有利子負債の圧縮などの財務体質の強化に取り組んでまいり所存でございます。現時点で見通される諸要因を織り込んで前回予想を修正することにいたしました。

以　　上